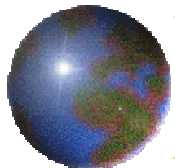


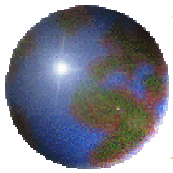
ICANNクアラ Lumpur 会合 政府諮問委員会報告 (2004. 7. 17-7.20)

2004年9月9日
総務省データ通信課
インターネット戦略企画室
三吉 卓也



目次

	頁
1. 政府諮問委員会 地域フォーラム	3
2. 新メンバー参加とGAC体制	6
3. g T L D 政策	7
4. c c T L D 政策	8
5. GAC運営原則の改定	9
6. GAC将来体制とその財源	10



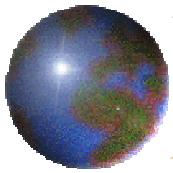
1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

目的:

- 1) 政府諮問委員会(GAC: Governmental Advisory Committee)
(現在約90メンバーが加盟)に初参加又は未加盟の政府関係者を
主たる対象として ICANN及びGACに関するオリエンテーションを実施
- 2) 開催地域において関心の高い話題に関する情報提供及び意見交換
を実施

(このフォーラムは公開で行われ、民間関係者を含め広く参加が可能)





1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

プログラム

1. チュートリアル: インターネット、DNS、ICANNの紹介
2. ワークショップ
 - 1) IDN(Internationalized Domain Names)ワークショップ
 - 2) IPv6ワークショップ

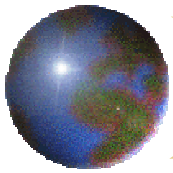
(資料URL: <http://194.78.218.67/web/meetings/mtg19/index.shtml>)

ワークショップ

IDN, IPv6をテーマとしてワークショップを開催。現状の課題、各国の状況等広範囲にわたる事項について情報交換。日本の関係者からの貢献もあり、多くの参加者から高い関心を得た。

IDNワークショップ

1. IDNの概要 James Seng, IETF IDN-WGチェア
2. CJK 問題 堀田博文 (株)日本レジストリサービス
3. インドにおける概況 Dr. Govind インド政府
4. IDNとWhois Ram Moham Afiliyas



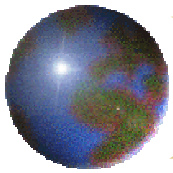
1. 政府諮問委員会 地域フォーラム

IPv6ワークショップ

1. IPv6動向 江崎浩 東京大学助教授
2. ルートサーバ対応について Bill Manning Bルートオペレータ
3. アドレス割当てについて Paul Wilson APNIC事務局長
- 4 - 1. 台湾の状況 Dr. Shian-Shyong Tseng TWNIC
- 4 - 2. マレーシアの状況 Mdm Rohani Ishak
5. IPv6移行へ向けて 荒野高志 (株)インテックネットコア

IPv6に関しては、RSSACからの勧告とそれを踏まえたICANN理事会決議を受けて、IANAにおいてルートゾーンファイルへのアドレス追加手続の整備を進めていたところ、今回ICANN会合期間中に.jp等についてIPv6アドレスが追加された。

GACとしてもコミュニケにおいて次のように述べてこれを歓迎。
“The GAC welcomes the ICANN Board’s decision, and the subsequent revision of the administrative procedure by IANA, which allow the IPv6 addresses of TLD name servers to be added to the root zone. The GAC supports the effort of ICANN towards the deployment of IPv6.”



2. 新メンバー参加とGAC体制

(1) メンバー構成

現在、GACメンバーは91、オブザーバーとして代表を出している国際機関が6、計97(今回出席したメンバーは48)。

ローマ会合以降、カメルーン、クロアチア、インドネシア、リトアニア、ウクライナ、スロバキアの6カ国がGACに加盟。

GAC未加盟のオブザーバとしては、アフガニスタン、イラン、サウジアラビア、タンザニア、パキスタン、カンボジア等が会合に参加。
今後順次加盟を期待。

(2) 副議長改選

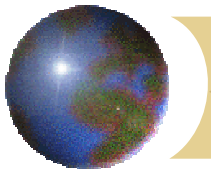
- ・GACでは、議長1、副議長3のポストを規定。
- ・前回の改選後2名の欠員があったが、再選挙に当たりナイジェリア、メキシコから立候補。以下のように地域のバランスが確保された形となった。

議長 : Mohamed Sharil Tarmizi: マレーシア

副議長 : Prof. Gabriel Olalere Ajaye, ナイジェリア

Luis Pablo Hinojosa メキシコ

Lena Carlsson (Ms) スウェーデン (前回選出済み)



3. gTLD政策

- ・ ICANN内の他の構成組織の検討状況を踏まえ、Whois、新gTLD導入等、gTLDに関連する公共政策課題を中心にGAC内部で議論。

・GNSO理事会との対話

現在のWhoisタスクフォースの活動状況等について報告を受け、今後定期的に情報交換を行うことで合意。

・Whois

個人情報保護、消費者保護や知的財産権保護の観点からの法執行上の必要性等、公共政策の観点からGAC内で継続して議論を実施。

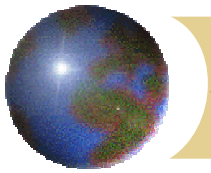
・OECDレポート

OECDからICANNへのアドバイス・レポートが7月13日にリリース。

「gTLD:市場の発展と割当てに関する課題」

割当て時のオークション、比較審査の両方式についての長所・短所などが記述。

<http://www.oecd.org/dataoecd/56/34/32996948.pdf>



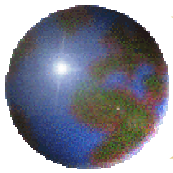
4 . ccTLD政策

(1) GAC ccTLD原則の見直し

- ・ 昨年よりGACのワーキンググループを中心に継続的に見直しについて議論。前回のローマ会合において、改定案の大枠をまとめた。
- ・ 今回のKL会合では、丸一日確保し、再度改訂について議論。ケープタウン会合での改定案採択を目標に、今後、さらに作業を進める。

(2) ccNSO、ccTLDとの対話

- ・ 当初ccNSOとの対話セッションを予定していたが、欧州等からccNSO未加盟のccTLDも参加できるようとの要請があり、公開で開催。
- ・ GACとccNSOとの密な情報交換を行うため、GAC内にccNSOとのリエゾングループ(5名)を設立。日本からも参加。
- ・ GACとして、未加盟ccTLDが多い現状を踏まえ、ccNSOが今後継続的にメンバーを増やすよう奨励(コミュニケ)。

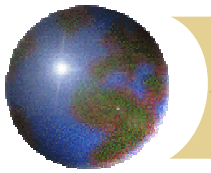


5. GAC運営原則の改定

- ・GAC第2回会合(1999年5月)に承認されたGAC自体の運営原則(Operating Principles)について、昨年から継続的に改訂を議論。
今回のKL会合にて、一部の改訂を実施。
本会合で合意が得られなかった点については、今後引き続き検討。
(改訂前: http://194.78.218.67/web/docs/Operating_Principles-English.htm
改訂後: 近日GACWeb掲載見込み)

【主な変更点】

- ・議長・副議長の選出に関する規定の整理
 - 1) 設立時における議長・副議長の選出に関する規定 削除
 - 2) 議長の再選に関する規定 規定なし 1度のみ再選可能
- ・ITU等の国際機関:
議決権のあるメンバー 議決権のないオブザーバーに変更。
- ・議決のための定足数(メンバーの会議参加実績を考慮):
メンバーの1/2 1/3に変更。
(cf.日本の国会の定足数も1/3)



6. GAC 将来体制とその財源

GAC 将来体制とその財源

- ・ 2003年1月、それまでの豪州政府から欧州委員会へ事務局移管。当初の約束は18ヶ月間。但し将来体制が決定するまでしばらくの間延長することについて欧州委員会は柔軟に対応可能である旨、昨年のカルタゴ会合にて表明。
- ・ ICANNに対して政策的な観点から助言を行うGACの役割の継続性を保つとともに、そのための財政的な基盤を確立することから、各国政府からの運営資金の拠出方法や組織体制について、今後継続して議論をするため、Structure and Financing-WGを昨年10月のカルタゴ会合で設立。その後、オンライン及び対面での議論を実施。
- ・ 今回会合ではローマ会合に引き続き、他の国際的な枠組みを参考にしながら、参加国の多様性に配慮した柔軟な枠組みについて継続して検討することとされた。